

桜美林学園

# 同窓会だより

2024.9.25 発行

210号



2024 総会＆リ・ユニオン レポート	2
賀寿礼拝を開催しました	6
理事長就任あいさつ	8
広げようオベリンナーの輪	10
OBERLIN ACTIVITIES／ひろば	13
清水安三先生隨筆	14
NEWS／ご逝去された方々	15
INFORMATION／編集後記	16

○ 桜美林学園 同窓会  
総会 & リ・ユニオン  
2024年6月15日(土)



桜美林学園の卒業生組織が変わります



### 会長あいさつ

## 学園と共に卒業生組織も変化

山本美浩／79中学・82高校・86大中卒

2021年に100周年を迎えた桜美林学園は、2024年に卒業生が12万4,000人を超えるました。4月からは新たな理事会体制でさまざまな改革に取り組まれており、卒業生としても、学園のさらなる発展に寄与できるような活動を継続、拡大させが必要だと思っております。今回の特別講演は、学園変革のタイミングで、学園設立に至るまでの安三先生・美穂先生・郁子先生の思いを知ることが重要だと考え、企画いたしました。変革する学園と共に、新たな卒業生組織についても、引き続きご協力をお願いいたします。

# 最後の総会 &リ・ユニオン

学園同窓会は2024年6月15日(土)に開催した総会 &リ・ユニオンをもって68年の歴史に幕を閉じました。



木村智次牧師の司式、江渡 恵氏のパイプオルガン演奏による礼拝で始まり、大槻達也理事長に来賓あいさつをいただきました。



学園関連書籍を販売。特別講演を行った太田哲男先生は、『清水安三と中国』上梓のほか、『小泉郁子教育論集』の監修も務めています。



## 2023年度 成果表彰 優秀な成果をあげた2団体を表彰!

2023年度は、高校軽音楽部と大学ソングリーディング部の2団体に、賞状ならびに報奨金を授与いたしました。高校軽音楽部は、第10回全国高等学校軽音楽コンテストでのグランプリ獲得をはじめ、数々の大会で入賞を果たす快挙を達成。大学ソングリーディング部は、アメリカで行われた2024 ICU世界チャリーディング選手権大会にPerformance Jazz部門日本代表として出場し、12カ国の中の見事銅メダル（3位）を獲得しました。



総会議事の  
詳細は  
ウェブサイトへ



総会の会務報告では、積立金や財政調整基金は有意義な計画実行につなげられる運用を、というご意見をいただきました。また、学園卒業生組織の新体制について山本会長から紹介がありました。同窓会活動は新体制の下、引き続き多様な取り組みを行っていきます。



### 特別講演

## 清水安三と中国－希望を失わず－ ～学園設立の理念・安三の前半生とともに～

太田哲男名誉教授（写真右）より、中国時代の安三先生・美穂先生・郁子先生の功績について、近代史を踏まえた貴重なご講話をいただきました。安三先生の的確な国際情勢の発信が著名人らに影響を与えたこと、女性の地位向上に奔走した郁子先生の先進性など、改めて心に留めたいことばかりです。さらにリベラルアーツ学群 中生勝美教授（写真左）からは、賀川豊彦 桜美林学園初代理事長と安三先生のエピソードをご紹介いただきました。

### 総会＆リ・ユニオンに参加して

**自** 々寮に暮らし、桜並木を眺めた日々を思い出します。当時の風景とは大きく変わりましたね。卒業後は中学校教諭となり香川へ戻りましたが、桜美林は人生の基盤をつくってくれた場所。寮や学部、混声合唱団の友人とはいまだに交流が続いていますし、石川忠久先生の教えのおかげでその後の仕事人生があります。

現在子どもたちが都心で学んでいますが、私のような素敵なお学生生活を送ってほしいですね。  
筒井彰子さん／84大中卒

**修** 士論文は、「安三先生を通して見る日中民間交流」がテーマ。学園史編纂室発行の冊子にも掲載いただき、博松かほる先生をはじめ、先生方に感謝しています。今回、助言をいただいた太田先生にも直接お礼をお伝えできました。現在は安三先生の理念を実践すべく、東京学芸大学で留学生受け入れを支援しています。大変なときも、安三先生の困難に比べれば、と力をもらえるんです。

呉 春蘭さん／23大院卒



大卒業後、別の大学に編入を考えていたところ桜美林学園の秘書を頼まれました。「4年制の学部をつくるから」という安三先生の言葉に乗せられてしまいましたが、この道を選んで本当によかったです。間近で知ることができた安三先生の思いや働きを広く伝えるのが自分の使命と思い、同窓会だよりの発行にも長く携わりました。若い世代に歴史を引き継ぎつつ、さらなる学園の進化、卒業生の活躍に期待しています。



榎木隆子さん／68短家卒



総会終了後、場所を桜力  
フェに移しリ・ユニオンを開催。小磯 明校友会長と  
山本美浩同窓会長があら  
たにスタートする卒業生  
組織を活発化すべく、固  
い握手を交わしました。

## 新しい 卒業生組織が スタートします

学園連合同窓・校友組織のもと、  
中高同窓校友会と大学校友会が  
今後も皆さまの交流活動を  
支えてまいります。



コロナ禍も落ち着き、今回はピュッフェ形式でより自由に食事をお楽しみいただき、  
懐かしい人々とのリ・ユニオンのひとときに会場は笑顔や談笑であふれています。



畠山浩昭学長（写真右上）からのあいさつの後、川合貞義同窓会相談役（写真  
左上）による乾杯の発声とともに懇親会がスタート。再会を喜び合いました。





**桜** 美林高校在学時、  
安三先生・郁子

先生も住まわれた木造校舎2階の桜寮で過ごした楽しい日々。講堂のピアノで練習し、音楽教師という夢に胸を膨らませました。地元福島に戻って夢を叶えようとしていた矢先、安三先生からお声がけをいただき、以来ずっと桜美林高校で音楽を教えてきました。大学でも教えることができ、多くの学生を見送ってきた私にとって、桜美林はまさに生涯を通じたホームですね。

元高校教諭 桜井 萌さん／55高校卒

**安**

三先生のお顔を拝見すると、今でも怒られそうで怖くて。桜美林中学時代、やんちゃでしゃっちゅう安三先生に叱られていきましたが、女子寮でトランプをしていてお叱りを受けた生徒は私ぐらいじゃないでしょうか。そんな思い出もある桜美林は、私の心の中心です。現在は愛知県瀬戸市に住んでいますが、今回のようなリ・ユニオンや賀寿礼拝など、集いの機会を大切にしています。



海老澤孝雄さん／  
59高校卒

**4**

人の子育てが一段落し、自宅から自転車で通える桜美林

大学英文科に入りました。息子が桜美林中学に通っていて、PTAの研修旅行でオベリン・カレッジの見学という貴重な経験をさせていただいたご縁も。主婦の生活から一転、自分の時間を楽しもうと入学しましたが、本当に思い出深い時間を過ごすことができました。卒業式で学業優秀賞をいただいた際には、まさか自分がと大変嬉しかったことを憶えています。

小林瑞枝さん／01大院卒



## 桜美林中学・高校同窓校友会が発会

2024総会＆リ・ユニオンの閉会後、桜美林中学・高校同窓校友会の発会式が執り行われ、会則案と事業計画の説明、二役（山本会長・谷津副会長・井原副会長）の紹介がありました。学園卒業生組織の新体制として新設されたこの中学・高校同窓校友会は、今後中学・高校の在校生と卒業生を対象とした事業として、成果表彰、桜空祭（文化祭）への参加、「50歳の集い」「20歳を祝う会 茶話会」の開催、クラス会・学年会・OB会などの開催支援、卒業記念品贈呈などをいたします。また、リ・ユニオンや賀寿礼拝などの学園全体に関わるイベントや、地域支部、職域別活動の支援および広報誌の発行は大学校友会と共に共同事業として携わっていきます。



山本美浩会長  
(82高校卒)



谷津町子副会長  
(73高校卒)



井原剛副会長  
(81高校卒)

## ■発足懇親会を開催します■

日程：11月9日（土）

※詳細は同窓会ウェブサイトをご覧ください。

懐かしい先生方にもお声掛けしています。  
皆さまぜひご参加ください。

輪になっての校歌合唱で絆を確かめ、大沢氏によるエールで閉会となりました。



# 賀寿礼拝を開催しました

113名の同窓生の皆さまを荊冠堂チャペルにお迎えして感謝の礼拝を捧げました

詳細は  
ウェブサイトへ



## 賀寿礼拝

2024.4.27

### 往時を懐かしみ、集う喜び

賀寿祝い礼拝には、還暦68名、古希12名、喜寿18名、傘寿10名、米寿5名の合計113名の方々にご出席いただき、クワイア合唱、パイプオルガン演奏、木村牧師による説教、畠山学長、山本同窓会長の祝辞やあいさつなどでお祝いをし、今共に集うことへの喜びを分かち合いました。お席のご案内をする際、清水安三先生、郁子先生のお写真をご覧になった方が、その昔、「あんたはどこから来たんじゃ！」、と声を掛けられたお話を聞かせてくださいました。また、久しぶりに会ったご友人同士、とても晴れやかな笑顔で往時を懐かしむ姿がそこかしこに見られました。昔の校舎や仲間たちのスライド写真上映では、それぞれの思いがよぎって笑顔が多く見られ、温かい雰囲気に包まれました。礼拝後はそのままチャペル下に場所を移して軽食とお飲み物をご用意して歓談の場を提供させていただきました。皆さまひとときのお話に



花を咲かせ、再会を約して夕方には散会しました。  
礼拝にて捧げられました献金61,289円は、100周年記念事業「桜の園 日本一計画」へ寄付させていただきました。温かいご支援に深く感謝申し上げます。

行事企画委員長 村田 望／88大中卒



## 還暦



### ◆◆◆ 還暦を迎えて ◆◆◆

還暦を迎え、初めて賀寿礼拝に参加しました。会場のチャペルは40年前とは違って大変立派で近代的な建物へと生まれ変わっていました。私は敬虔なクリスチヤンではありませんが、なぜか讃美歌312番を「いつくしみ深~き、友なるイエスは…」とすんなりと歌えてしまったことに驚きつつ、私もオベリンナーなんだなあと自覚した次第です。

古希～米寿を迎えた諸先輩方の元気なお姿を拝見し、また10年後に自分も元気に古希を迎えることができればいいなと思いました。同級生の皆さん、10年後の賀寿礼拝でお会いしましょう！

渡辺 進／82高校卒



## 古希



### ◆◆◆ 古希を祝って ◆◆◆

賀寿礼拝に参加し、母校の発展に感動と喜びを感じるとともに高校在学時の思い出がよみがえりました。土曜日の復活の丘チャペルでの礼拝、服装検査。別棟の音楽室への移動中のクラスメイトとのお喋り。3時限後の長めの休み時間に速攻で行った食堂や売り切れ必至の三角揚げパン争奪戦。体育祭での清水学園長の水戸黄門様の仮装。当時は単線だった横浜線に乗り遅れまいと必死で走ったスクールバス乗り場等、今ではすっかり拡張されたキャンパスですが、私の中では今でも当時の様子が鮮明です。心豊かに過ごさせていただいた母校に感謝し、ますますの発展を願っています。 エイルス（服部）末子／72高校卒



## ◆◆◆ 喜寿を迎えて ◆◆◆

高校入学時、安三先生は礼拝で桜美林には塀がないとおっしゃいました。その理由は入学を希望する生徒たちを分け隔てなく、幅広く受け入れるためだそうです。その教えのごとく桜美林にはすべてに塀・垣根がありません。男女間、生徒先生間、先輩後輩間、学部学科間、学園催事に関しても在校生と卒業生皆が対象のものが多数あります。卒業してから55年間、今日にいたるまで学友との交流の輪が途絶えることがなく、他に類を見ない学園となっています。安三先生の教えを忠実に引き継がれている学園関係者の方々の努力の賜物と、感謝の気持ちでいっぱいです。

佐藤 泰／69大中卒



### 喜寿

## ◆◆◆ ご歓談 ◆◆◆



礼拝後は、お食事と歓談のひとときを楽しんでいただきました。より詳細な様子が同窓会ウェブサイトに掲載されていますので、P.6のQRコードよりぜひご覧ください。

## ◆◆◆ 傘寿を祝って ◆◆◆

傘寿を迎えて感動と驚きでいっぱいです。和歌山県から兄の母校である桜美林高校へ昭和35年に入学。清水安三先生に、「あんたはどこから来たんじゃ！」と声をかけていただき、高校生活（寮生活）が始まりました。トイレ掃除の3年間は辛かったですが、楽しくもありました。安さんから面白くて励まされるメッセージをいただき、充実した高校時代を過ごしました。教会礼拝に集い、洗礼も受け、今日までクリスチヤン生活を送っています。主人と共に5人の男子を育ててきましたが、平成29年に救急搬送。車いす生活になりましたが元気に、楽しく過ごしています。

北村 環／62高校卒



### 傘寿

### 米寿



## ◆◆◆ 米寿を迎えて ◆◆◆

賀寿礼拝は、懐かしい母校桜美林学園同窓会および関係者の皆さんに温かく迎えられました。私たちにとっては久しぶりの礼拝でした。これが最後の礼拝になろうかと思うと感慨もひとしおです。学園の懐かしい思い出は中学・高校生の頃の江ノ島の龍口寺での臨海学校です。早朝の江ノ島での岩頭礼拝や龍口寺の礼拝は恒例になっていました。まさに「心技体」を求めて全校挙げての行事でした。また、卒業生の絆の源は日常の礼拝から全ての行事を通して「知徳体」を求めたキリスト教による全人教育にあると思います。今後は、恩師清水安三先生のように人生を全うしたいと思います。

52年3月中学卒・55年3月高校卒 出席者一同

## 理事長就任あいさつ

# 桜美林の伝統を受け継ぎ 第二世紀を築いていくために

学校法人桜美林学園理事長  
大槻達也



本年4月、学校法人桜美林学園理事長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。山本会長はじめ同窓会の皆さんには日頃より大変お世話になつており厚く御礼申し上げます。

## 桜美林大学と私

私が桜美林の名前を明確に意識したのは、1976（昭和51）年夏、桜美

林高校が甲子園大会の決勝で強豪PL

学園を延長の末に下した一戦でした。ちょうど私も高校3年生で、同世代の球児たちの健闘と美しい響きの校名が印象的だったことを覚えています。

その37年後の2013（平成25）年から文部科学省勤務の傍ら、桜美林大学院の大学アドミニストレーション研究科で非常勤講師として「私学行政論」を担当することになりました。現職の国公私立大学職員を中心とする大学院生から学ぶことが多く、得難い経験に感謝しています。文科省を退職

## 外から見た桜美林

さて、桜美林学園は、創設者の清水安三先生が1921年に中国・北京で崇貞学園を創設して以来103年になりますが、今や幼稚園、中学校、高等学校、大学、大学院を擁し、約1万2千人余りが学ぶ総合学園に発展し、12万人を超える卒業生を輩出しています。大学に限つてみても、7学群と大学院を擁し、学生数1万人超という規模は、私立大学の中で上位1割に入るほどの大規模なものとなっています。

そのような量の面と共に、卒業生の質の面でも注目を集めています。日経HR編集部編著『日経キャリアマガジ

ン 値値ある大学 就職力ランキン

2024-2025』（2024年6月5日）の特集「企業が欲しがる人材を輩出する大学」では、企業の人事担当者の評価をもとに「10年間ランキン

グ」を掲載していますが、「行動力」「対人力」「知力・学力」「独創性」の4側面の合計点で順位付けした総合ラン

キングで、国公私を通じた53位、私学では16位となっています。各側面別に見ると、「対人力」（コミュニケーション能力が高い）「ストレス耐性が高い」「柔軟性・適応力がある」の3項目の平均値）が国公私を通じた18位、

私学では5位。「行動力」（熱意がある）「主体性がある」「チャレンジ精神がある」の3項目の平均値）が国公私を通じた22位、私学では8位。「独創性」「創造力がある」「個性がある」「着眼点がよい」の3項目の平均値）が国公私を通じた37位、私学では8位。

「知力・学力」「論理的思考ができる」「高い教養を身に付けている」「理解力がすぐれている（地頭がよい）」の3項目の平均値）が国公私を通じた85位、私学では29位となっています。また、東京地区的大学では、国公私を通じた20位で、17位の芝浦工業大学・立教大学（同順位）、19位の法政大学に次ぐ順位となっています。このように企業からの評価が高い卒業生を送り出しています。

その一方で、昨年度、ガバナンス不

れからもその伝統を大切にしていきた

## 内から見た桜美林

では、一教員として内側から桜美林を見た印象はどうでしょうか？ 専任教員として6年目、しかも研究室は新宿キヤンバスにあって、町田をはじめ他のキャンパスにはほとんど疎遠だったこともあり、桜美林全体を俯瞰するのではなく、あくまでも限られた範囲での主観的な観方とということをためめれば次のとおりとなります。

専任になつた1年目の終わり近くに、新型コロナウイルス感染症が爆発的に流行し、総理大臣自ら初等中等教育諸学校の一斉臨時休校を要請するなど、教育機関においても異例の対応を矢継ぎ早に求められることになりました。桜美林大学では、畠山学長のリーダーシップの下、教職協働によって、学生へのパソコン配布やオンライン授業導入などで他大学に先んじたことは高く評価されることだと思います。また、大学院の大学アドミニストレーション研究科では、桜美林の現役職員を数多く受け入れてきましたが、忙しい本務の傍ら高等教育制度や大学経営等について学んだ職員が事務局で幹部や中堅として活躍されているのも本学の強みと言えます。

その一方で、昨年度、ガバナンス不



全をめぐつて私学助成が減額されたことに象徴されるように、本学のガバナンス、財務、組織風土等に課題があることも事実です。桜美林ならではの教育研究を充実させ、高校生や保護者の皆さまから選ばれ続け、卒業後も桜美林で学んだことに誇りを持つていただけるよう、これらの課題を解決していくことが不可欠です。そのためには、役員や教職員一人一人が当事者意識を持つて自らに求められる役割に取り組むことが重要だと考えます。

## 桜美林の第一世紀に向かって

清水安三先生をはじめ多くの先人、諸先輩の努力や関係者の協力の積み重ねの上に、2021年、桜美林学園は創立100周年を迎えました。次の100年に向けて、建学の精神「キリスト教精神に基づく国際人の育成」やスクールモットー「学而事人」という基本理念を変えることなく、「変革と進化」をコアバリューとする長期ビジョン「J.F. Oberlin Schools 2040 - Unique & Sharp -」が策定されています。いわば「Unique & Sharp」というコンセプトのもと、「唯一無二」の個性的な教育で、変革社会をリードする人材を育成」することを期すもので、その実現のため、「迅速で柔軟な組織運営」「主体的に躍動感ある教育研究」

「多様な価値観を尊重するコミュニティ」という三つの基本戦略が掲げられています。

しかし、その道のりは平坦ではありません。18歳人口の減少傾向に歯止めがかからず、多くの大学で学生募集に困難を抱えています。幼稚園や中学校、高等学校についても同じです。必要な対策は、教育を充実して、在学中に成長が実感できるようにしていくこと、また、そのことを子どもたちやその保護者、進学元の先生方、ひいては社会に対しても分かりやすく伝えていくことであると考えます。また、先の見通しが困難な時代にあって、社会の中核として活躍が期待される桜美林の学生・生徒に対して、基礎学力を身に付ければ、生涯を通じて学び続ける習慣を培い、変化の中にも自らを失わず、仲間と共に困難を克服していくことのできる資質・能力を養うことが極めて重要です。このような地道な取組みを重ねることによって、将来にわたって桜美林が選ばれ続ける存在であることができるものと考えます。

私たちを取り巻く環境には楽観視できないものがありますが、「為ん方尽くされども希望を失わず」という清水安三先生の言葉を胸に、皆さまのお力添えをいただきながら桜美林を発展させていきたいと思つております。ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ◆略歴◆

1981年、早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。文部省（現・文部科学省）に入省し、主として大臣官房、初等中等教育局、高等教育局に配属され、大臣官房総括審議官、国立教育政策研究所長などを歴任。この間、国際機関、総理府（現・内閣府）、県教育委員会事務局、在外公館特殊法人、国立大学法人にも勤務。その後、上越教育大学大学院および桜美林大学大学院で非常勤講師を務め、文科省退職後の2019年、桜美林大学教授に就任。大学院大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム長を経て、2024年、理事長就任。

# 広げようオベリンナーの輪

全国に広がる支部会、同窓会、クラブ活動OB会などの活動をお知らせします

詳細は  
ウェブサイトへ



支部会

八王子支部

2024.1.27

第2回 八王子リ・ユニオン開催報告



2006年に発会式が行われて以来、第2回の開催準備を進めていたところでコロナ禍、さらに延期となり実に18年ぶりの開催となりました。歓談中には、芸術文化学群の学生2名によるミニコンサートも行われ、桜をテーマとする曲がアンコールを含めて4曲披露され、参加者も口ずさみながらたくさんの笑顔に包まれ、最後に40名の参加者で学園歌斎唱、1年後の再会を約束し散会しました。ここにリスタートした八王子支部。次回はさらに多くのオベリンナーにご参加いただけますようお待ち申し上げております。八王子副支部長 楠葉主敏／83高校卒



支部会

千葉県支部

2024.2.3

第20回 千葉県リ・ユニオン開催報告

千葉県支部はおかげさまで今年20回目のリ・ユニオンを迎え、「記念祝賀会」を開催。小池理事長、小磯校友会長、山本同窓会長をはじめ関係各位の皆さまにご臨席を賜り、支部の皆さまと共に盛会のうちに終えることができました。毎年参加者が集まらず、どうしたら増えるかと悩み、時には支部長を辞めてしまいたいと思いながらも、同窓会本部や校友会の役員の方々からの温かい励まして、続けることができました。この二十数年間、桜美林学園とご縁をいただき、皆さまとお会いできたことが私にとっての財産です。今後も支部の発展に貢献できるよう努力してまいります。

千葉県支部長 伊東茂治／83大経卒



支部会

町田支部

2024.2.24

第8回 町田リ・ユニオン開催報告



第1部は講演会、第2部は懇親会という形式で開催しました。講演会は、昨秋放映されたドラマ『下剋上球児』の原作者菊地高弘氏が、「1976年桜美林高校 イエスイエスイエスと叫ぼうよ』を執筆されていたことを知り、往時を振り返りつつ、再び甲子園出場の夢を共有したいと考え企画しました。講演は、清水安三先生の「せん方尽くれども、希望を失わず」の言葉を何度も語っていただき、桜美林愛に溢れた内容でした。続いて、優勝時メンバーの方々に当事のフィーバーぶりやエピソードを熱く語っていただきました。

町田支部長 大沢則夫／65高校・92大中・96大院卒

支部会

群馬支部

2024.3.16

第18回 群馬リ・ユニオン開催報告

第1部は高崎市の「Gメッセ群馬」で支部総会を行い、38名の方にご参加いただきました。結城裕子さん（77大中卒）による「沖縄三線の演奏と語り『清水安三先生を偲んで』」では、三線演奏の後、安三先生と美穂先生、郁子先生のお話が語られ、3人の先生方の思いが学園と今の私たちを育ててくれたことに胸を打たれました。第2部は富岡市の「妙義グリーンホテル」で32名のご参加のもと恒例の温泉宿泊懇親会を行いました。県外のオベリンナーの皆さんもぜひ来年度の群馬リ・ユニオンにご参加ください。

群馬支部長 結城 茂／76大中卒



## 同窓会

## 1970年度高校同期会

2023.10.21



65歳の時、今後は3年ごとに開催しようと場所も下見をした矢先にコロナ禍で断念。その時に15名でLINEグループを立ち上げて楽しく会話しながら終息を待ちました。ようやく開催を迎へ、4名の先生方のご臨席を賜り、晴れ男・晴れ女合わせて35名が集いました。乾杯後、A組のソプラノ歌手の小田恵娜さんの素晴らしい歌声に拍手で始まりました。久しぶりの会話は、司会の声も届かない程弾んでいました。また記念写真は、スマホ等からLINEグループで共有したり転送したりして郵送は省きました。後半に校歌齊唱、お楽しみのジャンケン大会では柴適先生が勝者に。賞品を贈呈しました。お開きになった後は、希望者のみで二次会を楽しみました。 松本万里子／70高校卒



## 同窓会

## 1968年度大学英文科第一期生同窓会

2024.5.23

大学英文科第一期生の同窓会が町田市内で開催されました。高齢による健康不安や病気療養中により参加者は9名に留まりました。久しぶりの再会に最初は少し緊張気味でしたが、やがて打ち解けて古き佳き時代にタイムスリップ。青春時代の写真を見て昔の笑顔を思い出し、楽しかった学園生活のエピソードに思わず高笑い、顔のシワが緩みっぱなしでした。これから80歳台の難所を元気に乗り切っていくことを皆で誓いました。そして懐かしい素敵な出会いを与えてくれた桜美林大学に感謝の気持ちを新たにしました。

幹事（三宅 洋・高橋静江・鈴木繁雄）／68大英卒



## 同窓会

## 1982年度高校同期会

2024.6.15



2017年の開催時には2年がかりで準備を重ねての開催でしたが、今回は準備期間が短く苦労しました。当日は幹事だけでなく同級生の積極的な声掛けもあり126名が参加。恩師である藤崎堅信先生、桜井萌先生、藤原明子先生、佐藤三知夫先生、安藤正子先生、村上早代先生にもご参加いただき、当時の話や自分たちの近況を話して盛況でした。締めは恒例となつた三浦雅紀くん（現桜美林学園教諭）指揮による校歌の合唱とエールで大盛り上がりの閉会となりました。この規模で集まるのは、おそらくあと10年後？ 健康で、また友と再会できる日を楽しみにしています。



## 同窓会

## 65年目のクラス会（1959年高校Cクラス）

2024.6.15

昭和35年3月、59年度Cクラスとして桜美林高校を卒業して65年という年月が経ち、同窓会名簿に載っているのは、天国へ召されたり転居先不明等で卒業時の約半分。リ・ユニオンに合わせて企画した当日、参加者はわずか6名。それでも1年にグラウンドのライト奥（現在のバス駐車場辺り）に25mプールをつくったこと、卒業式の最中に2階から火災が発生したこと、3年時に現在の校歌ができ、鉄筋の9教室とチャペルが建つことなど、楽しい語らいのひとときを持ちました。参加できなかつた仲間たちのため、改めて地上最後のクラス会ができるだけ早く企画しようかなと思います。 駒田一郎／59高校卒



北神秀樹（旧姓田中）／82高校卒

## 同窓会

## 第3回国際学部一期生同窓会

2024.7.6



卒業から31年、また前回の開催から9年が経過しており、果たして何人参加してくれるだろうかという幹事の心配をよそに、オンライン（Zoom）参加2名、先生5名を含め、67名が参考し懐かしい思い出を語り合いました。会は、一人ずつの近況報告や、トラン・バン・トウ先生による美しいピアノ演奏、ヒックス・ジョセフ先生による情熱的なオペラ歌唱が披露され、大いに盛り上りました。解散後も二次会、三次会へと続き、話の尽きない楽しい時間を過ごしました。

吉川（京塚）貴子／92大國卒



## OB会

## 高校野球部

2024.1.20

## 幅広い年齢層 思い出話いっぱい！



高校野球部OB会は、途中コロナ禍での中断もありましたが、今回で17回目の開催となり、33～81歳という幅広い年齢層の約70名が集いました。また、山本美浩同窓会長、長年にわたり応援いただいている小川康夫様、全国優勝時の監督で昨年3月に天に召された濱田宏美先生の奥様である一枝様にもご出席いただき、近況や思い出などを語っていただきました。一枝様の話には目頭を熱くする者もいて心動くOB会となりました。また、監督が片桐幸宏さん（1976卒）から津野裕幸さん（1989卒）に交代したことから、新旧監督の激励・慰労がユーモアいっぱいに行われました。締めは、全員で校歌を大合唱！ 来年もまた楽しい時間を共有できるOB会を開催するつもりです。

OB会会長 菊池太陽／76高校・80大商卒

地域  
交流会

## 二つの地域交流会に参加しました

2024年6月29日：長野／8月5日：モンゴル



大学校友会主催の二つの地域交流会に参加しました。6月29日（土）にシャトレーゼホテル長野で開催された長野県初の地域交流会（写真上）では、大槻理事長をはじめ50名以上の卒業生が参加。年代を超えた交流が生まれる有意義な時間となりました。また、8月5日（月）に海外初となるモンゴルのウランバートルで開催された地域交流会（写真下）では、総勢25名程が参加し、現地の教育状況や卒業生の活躍状況などについて国を越えた交流をすることができました。



## OB会

## 高校ラグビー部

2024.3.30

## 春の交流会を開催しました

今回の交流会では、チームを最後まで見守ってくれた2023年度卒業生マネージャー2人にOB会として感謝を込めてプレゼントを贈呈しました。選手は、私も？含め15人。OB戦はできませんでしたが、入部体験生3人と共に基本的な練習を含め、タッチラグビーでしめて充実した時間を過ごしました。次は夏の交流会を目指しています。私たちラグビー部OB会は、既存の組織編成を撤廃しLINEグループによる新しいかたちのOB会をつくりました。創部63年を迎え、桜美林学園の繁栄とともに、これからもレガシーを残していくよう努めています。

OB会会員 原 春男／66高校卒



# OBERLINER ACTIVITIES

桜美林学園の部活動やスポーツの結果をまとめました!

## ◆ 高校 部活動 ◆

### チアリーディング部

- 東京都高等学校総合体育大会 2層部門 優勝

### 剣道部女子

- 第71回 関東高等学校剣道大会 出場

## ◆ 大学 特別強化クラブ ◆

### ソングリーディング部

- ICU世界チアリーディング選手権大会 3位 銅メダル

### 弓道部

- 第54回 全関東学生弓道選手権大会 男女ベスト8
  - 男子個人：茅野麗司（リベラルアーツ学群1年）優勝
  - 女子個人：赤澤千咲（リベラルアーツ学群1年）3位
- 第36回 全国大学弓道選抜大会 女子優勝

### 野球部

- 首都大学リーグ 春季リーグ戦（1部）
  - 5勝7敗 勝ち点2 3位
  - ベストナイン受賞
    - 一塁手：千代松広大（リベラルアーツ学群4年）
    - 外野手：梅香拓海（健康福祉学群3年）

### チアリーディング部

- 第26回 関東選手権大会
  - 自由演技競技DIVISION① 大学の部 3位

### 駅伝部

- 第103回 関東学生陸上競技対校選手権大会
  - 5,000m：ネルソン・マンデラ・ンビディ（グローバル・コミュニケーション学群3年）決勝6位
  - ハーフマラソン：志村紘佑（健康福祉学群3年）25着  
佐藤 亘（健康福祉学群3年）52着

### バレーボール部

- 関東大学バレーボール 春季リーグ戦
  - 女子：1部 3勝8敗 9位
  - 男子：3部 5勝0敗 1位 入替戦敗退

### サッカー部

- 関東大学サッカーリーグ戦 東京・神奈川2部
  - 9勝1分2敗 2位 （12節終了時点）

## 皆さまからのお便り ひろば

### 木村典子（雪苑）／73高校卒

（埼玉県）

高校を卒業して50年たちました。現在墨象作家として活動しています。機会がありましたら母校にうかがいたく、いつも心の中で思っております。同窓会だより楽しみにしております。

### 木下 明／80大経卒

（山口県）

1981年経済学部卒業、今年65歳で年金がもらえる年になりました。今でも学園生活の中での失敗を思い出します。でもどんな失敗もこの歳で思い出すと自分にとって本当に大切な思い出になっています。同窓会だよりこれからも楽しみにしています。

### 山本正仁／74大経卒

（北海道）

いつも冊子を送っていただき有難うございます。毎回楽しく見させていただいております。74年に卒業して50年近くになります。桜美林大学に入って大変嬉しかったです。ますます充実した学園になるよう祈っております。

### 里見さみ／85高校卒

（新潟県）

今年初めて千葉支部のリ・ユニオンに出席し、色々なお話を聞けてとても楽しかったです。

### 齋藤雅宏／92大中卒

（長野県）

4月から単身赴任です。長い夜を同窓会だよりを読みながら過ごしています。中学校で国語を教えているので、二年の漢詩では石川先生に教わったことを自慢しています。

### 川本章司／75大経卒

（静岡県）

2023年12月2日（土）静岡地域交流会が初めて開催されました。大学卒業後、半世紀近く、やっと地元でオベリンナーと会うことができました。感激です!! 当日のために、準備等していただいた校友会の皆さん本当に疲れさま、ありがとうございます。またの機会、静岡で開催されること、期待しております。

### 荒井恵美子／77大英卒

（神奈川県）

1ヶ月ぐらい前、航空・マネジメント学群の桜美林クルーたちのニュースを見ました。使い捨ての油が飛行機の燃料に使用できるなんて時代ですが、いろんな状況でも、がんばってほしいです。桜美林マガジンが郵送される袋に貼ってあるシールがきれいにはがれるのも、環境問題に取り組んでいるのを感じました。

### ひろばへお声をお寄せください

同封のハガキ、同窓会ウェブサイトの掲載申し込みフォーム、右のQRコードから投稿が可能です。



清水安三先生隨筆  
「基督教世界」

昭和2年(1927年)6月10日

原文、難しい本漢字は略漢字に、旧仮名遣いは新仮名遣いに  
聞き馴れない言葉、人名には（ ）で説明語を付記しました。  
難読漢字には読み仮名をふり、隨時、句読点を補いました。  
また、発行日の年月日は漢数字から算用数字に直し、文中の  
明治・大正の年号には（ ）で西暦を併記し、志那人は中国人  
人に改めました。

小林  
茂／51高校卒



ある。この時代は所謂歐化主義（西洋文化尊重）の流行せし頃とて、ダンス熱と共にバタ臭い基督教も大にはやつたのである。この間に於てわが教会の会員数は、驚くべし其の三倍八千九百五十一名となつた。この間に於て特筆すべき事項は明治一九年（一八八六年）に京都に於て、第一回総会の開かれしたことである。

吾人は第三期を反動衝突期と称するのであるが、それは明治二十四年（一八九一年）から三十三年に亘る十年間である。この間に於て教会の外には井上哲次郎、谷本富の両博士が「宗教と教育の衝突」を提唱する。教界の内に

このままに形勢が沈滯せば組合教会も萎縮廃頽する外なかつたのであるが、幸にして明治三十四年（一九〇一年）から明治四十三年（一九一〇年）にかけて、復興活動の時代に入った。わけても明治三十四年（一九〇一年）は世が二十世紀という所謂新世紀の初頭第一年である。世界的に新機運に移らんとする氣合が満ちていた。この機運を逸すべからずとなしたる組合教会は、大挙伝道を計画し、明治三十九年（一九〇六年）には集中伝道、明治四十三年（一九一〇年）は拡張伝道を実行して大に氣勢を挙げ教界の形勢を挽回し、会員数も一万七千四百二十七名を計上するに至つた。先ずこの時期に於て、組合教会の基礎が定つたといつて差支あるまい。

教会)の合同破裂の影響があつたが又、  
独逸(ドイツ)よりはスピンネル博士来つて新神  
学を提起し、米国よりはユニテリアン  
派(キリストの神性を認めないキリスト  
教の一派)が渡来。その結果は新旧  
両神学の大衝突。信仰の動搖するもの、  
専ら(わざら)外に脱出するもの外に伝道の行詰(ゆきまづ)。  
内は信仰の動搖、実に組合教会にとつ  
て大なる試練の時代であつた。これが  
統計に現れざる筈なく、この十年間に

於て、僅に一千六百二十七名しか信徒を増加しなかつたのである。

七年（一九一八年）の終りには会員二  
万二千五百九十八名となつた。



## 反射材キーホルダーを贈呈

2024年4月26日

同窓会が作製したキーホルダーを中学・高校の在校生と幼稚園の在園児の皆さんに贈呈しました。交通安全の一助となるよう、夜間でも車のライトなどを反射した際に視認性が高くなるリフレクター素材を使用しています。桜美林カラーのスリーネイルズクラウンがモチーフとなったリバーシブル仕様です。



堂本中学高校長（写真左）に反射材キーホルダーを贈呈する山本同窓会長（写真右）。

## ご逝去された方々

謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒業生は敬称略（ ）内は旧姓（ ）内は逝去年月

稻葉早苗	65	高校卒	[23.11]
望月(松本)恵子	66	高校卒	[24.03]
磯 祐成	65	高校卒	[22.10]
磯(永野)修子	63	高校卒	[24.02]
鍋屋(岡村)京子	74	大中卒	[22.09]
河合のり子	47	中学卒	[23.07]
船原正紀	74	大中卒	[24.04]
長谷道雄	73	大経卒	[23.04]
福田英世	59	高校卒	[24.03]
新井(平賀)朋惠	74	大英卒	[24.02]
菊地(甲斐)宣子	66	短英卒	[22.04]
増渕(黒沢)美那子	51	中学卒	[20.08]
伊吹(大寺)眞理子	74	短英卒	[22.09]
太田(伊藤)美代子	73	短家卒	[22.11]
篠原 厚	59	高校卒	[23.12]
熊谷 健	75	大英卒	[24.04]
薄葉義明	55	短英卒	[24.04]
根岸(米山)泰子	61	短家卒	[24.05]
神山英昭	68	高校卒	[24.07]

外展活動の結果は多少、散漫の弊を伴い従つて、手を括げ過ぎたるの觀なきを得なかつた際、人心の要求に応じて到来せしは緊縮整理の時代である。先ず中国人伝道を組合教会より切り離し、大正十年（一九二一年）の秋には朝鮮会衆教会を独立せしめ、事務を整顿し、事業を引継ぐに至つた。之と共に大正十一年（一九二二年）一月、多年行懸りありしミッショソ（宣教団体）とは協力することになり、同志社とは神学教育に関し携手（手を取り合つて）努力することになった。

此の如く事業は整理せられ、事務は整頓するに従つて、中央基金も予定額に達し、維持財團の組織も成立し、大地震（関東大震災）後の復興も着々達成。制度改革熱も上げるべき丈にメートルを上げ尽くした。かくて組合教会は実に確固たる陣地を堅めたのである。ただこの整理時代に於て、何となく一種の重苦しい氣分、教勢は行詰れるに非ざるかというような心持を、何人も感じたのである。整理緊縮解決の時代に於ては、兎角花々しくないのでそうした感じを与えるものであるけれども、その実この時代に於て組合教会は二万六千四百八十三名という大団体となり、彼の欧化時代に次ぐ所の拡充を遂げ得たのである。

この時代に於て組合教会が大教派として他派に比較して、第三位となり第四位に落ち、更に第五位にも下らんかとするが如き、遺憾なる形勢に陥つた。この如く事業は整理せられ、事務は整頓するに従つて、中央基金も予定額にして世は昭和と革まり、普選（普通選挙、成人男子皆に選挙権が与えられた）の時代は到来したのである。我が教会としては此處に於て一新時代に遭遇するかの如くに感知できるのである。

吾人は来るべき時代は、必ず結束して躍進するの時代であらねばならぬと思ふ。神よ願くば光輝ある明治大正に於ける我が組合教会の歴史を、昭和の時代に於ても光輝あらしめ給え。アーメン

けれども之は組合教会が他派よりも少しく先に、整理の時代に入つたからである。今や或る派にして今頃分解作用を起し始めしもあり、或る派にして今頃ミッショソ（宣教団体）と分手せんとするものもある。或派にして今頃大先輩を失うて、統一を失い始めたるものもあると聞く。幸にして組合教会は已に嘗むるべき苦杯は悉く嘗め尽し、整理すべきは悉く整理し尽した。

この秋この折、組合教会は新時代に入らむと爲して居るのであるまいか。まだ若い若いと自らも思い、人もしか考えし人々が已に、今は油の乗り切つた少壯の盛りである。試みに思え。今は北海道より台湾、朝鮮、満州に至るまで、働き盛りの少壯牧師が要所要所

と堅めて居るのではないか。これが結束して、一飛躍を行わむか、組合教会は新エポック（エポック 画期的な時代）を齋すこと必定である。

# INFORMATION

## これからの行事予定

### 2024

	◆印は校友会、✿印は大学主催
桜日向祭(東京ひなたやまキャンパス)✿	10月 5日(土)・ 6日(日)
大阪 リ・ユニオン	10月 12日(土)
広島 リ・ユニオン	10月 13日(日)
宮城 リ・ユニオン	10月 19日(土)
ホームカミングデー◆	10月 26日(土)
桜李祭(町田キャンパス)✿	10月 26日(土)・27日(日)
50歳の集い	11月 2日(土)
中学・高校同窓校友会 発足懇親会	11月 9日(土)
沖縄 リ・ユニオン	11月 16日(土)
山形 リ・ユニオン	11月 30日(土)
静岡地域交流会◆	12月 7日(土)
四国地域交流会◆	12月 14日(土)
百桜祭(新宿キャンパス)✿	12月 14日(土)・15日(日)

### 2025

20歳を祝う会・茶話会	1月 13日(月・祝)
町田・相模原・八王子支部 合同リ・ユニオン	1月 25日(土)
千葉県 リ・ユニオン	2月 1日(土)
茨城地域交流会◆	2月 15日(土)
群馬 リ・ユニオン	3月 1日(土)

※上記の行事予定の詳細はそれぞれのウェブサイトをご確認ください。

## 寄付者ご芳名

敬称略

### 感謝の誌代

蓮見和子／66短英卒.....20,000円

### 特別会費

笠間律子／66高校卒.....10,000円

### 桜の園日本一計画

前川岬輝／05大経卒.....15,000円

2024年度「賀寿礼拝」ご出席者 .....61,289円

加藤幸恵／63短英卒 .....10,000円

2024年度「リ・ユニオン」ご出席者.....2,000円

## 個人情報の取り扱いについて

同窓会では個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしております。過去に発行された名簿の保管には十分ご注意いただき、第三者への譲渡や販売はお控えください。またDMや電話から、その企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

## 同窓生の本

鉄道の法規 -JRと民鉄の実例から読み解く-

交通ブックス 128

福永 健さん／84高校卒

鉄道関係の事業者、メーカー、試験や機関を目指す高校生や大学生、関係法令を把握しておきたい実務者、入社5年程度の鉄道関係会社の社員など、これから「鉄道の法規」を学ぶ人たちに向けた入門書。鉄道技術や列車運行に興味のある方々にも読んでいただける一冊です。 成山堂書店／価格1,980円(税込)



## カエルとおつきさま



湯浅由美子さん／76短英卒

井戸に住むカエルは美しい月の光に心を奪われていました。ある日、井戸にふたがされてしまい……。カエルが一筋の光を頼りに見つけようとしたものとは。 文芸社／価格1,100円(税込)

## 事務局からのお知らせ

転居など、個人情報の変更手続きは、同窓会ウェブサイトの専用フォームをご活用ください。ウェブサイトをご覧になれない方は、桜美林学園同窓会事務局までご連絡ください。

お電話でのお問い合わせ／☎042-797-1632(平日9:00～16:00)

ファックスでのお問い合わせ／☎042-797-3897

メールでのお問い合わせ／alumni@obirin.ac.jp

ウェブサイト／<https://www.obirin.jp/alumni>



## 編集後記

桜美林学園同窓会は1956年の発足から68年間にわたり、清水安三先生の「卒業生の戻る場所」をつくろうとのお考えから、学園と卒業生のために組織を整え、数々の事業を行ってまいりました。

安三先生自ら編集発行されていた学園広報誌『復活の丘』を引き継いで『同窓会だより』を発行し、総会＆リ・ユニオンの開催や中高、大学の同窓会活動支援、地方支部の拡充にも努めてまいりました。今後5年以内に学園同窓会と大学校友会は統合され、新たに生まれ変わります。まだ正式名称も決まっておりませんが、ゆくゆくは中高部門と大学部門とを傘下に持つ卒業生組織になる予定です。

『同窓会だより』という名称も今号が最後となります。今後どのように変革していくべきか、新たな組織体の中で検討し、新しいスタイルの会誌を構築してまいりますので、今後ともご注視ください。これまでの長きにわたるご愛読ありがとうございました。

桜美林学園同窓会 広報委員会委員長

田邊佳織／77大英卒

